北海道外科雑誌投稿規程

2024年12月改訂

一般事項：

1．投稿原稿は原著論文，症例報告，Publication Report，特集，カレントトピックス，総説とする。

(1) 原著論文，症例報告に関しては年に一度優秀演題を選出し，北海道外科学会にて表彰することとする。

(2) 特集，カレントトピックスに関しては依頼原稿とする。

(3) Publication Reportは，過去数年以内に執筆し公表された英文論文一編（原著・症例報告を問わない）に関して著者自身が日本語要旨を作成し紹介するものである。原則依頼原稿とするが、優れた英文論文である場合には、一般投稿も受け付ける。
本稿に図表を転載するには著者本人が初出雑誌等に転載許可をとることとする。

2．著者ならびに共著者は原則として本会会員に限る。非会員でも投稿は可能であるが，非会員の場合はその旨を明記し，本会会員の推薦を得ること。

3．原稿は他の雑誌に未掲載のものとし，他誌との二重投稿は認めないものとする。

4．投稿論文は編集委員長が選任した査読員２名による査読を受け，採否が決定される。採用原稿は毎年６月と12月に発行される本誌に掲載する。

5．著者校正は１回とする（原則として字句の訂正のみとし，大きな変更をしないこと）。

6．英文抄録については，原則として事務局が専門家に依頼して英文の文法についてのみ校正を行う。

7．原著論文は本文8000文字、図表7つまでとする。症例報告は本文4000文字、図表5枚までとする。Publication Reportは本文4000文字を目安とし、図表は5枚とする。依頼原稿の特集・総説・原著も同様である。上記頁数を著しく超過する場合には原稿を受理出来ない場合がある。図表はカラーも使用可能。

	総文字数（本文・文献）	図表	英文抄録	文献数
原著論文・総説	8000文字以内	7つ	200語以内	30以内
症例報告	4000文字以内	5つ	200語以内	15以内

8．別刷は発行しない。PDFファイルを著者に進呈する。

9．別頁に定める「患者プライバシー保護に関する指針」を遵守し，原稿（図表を含む）に患者個人を特定できる情報が掲載されていないことを確認しなければならない。

10. 掲載後の全ての資料の著作権は北海道外科学会に帰属するものとし，他誌などに使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする。

11. Secondary Publication について
本誌はInternational Committee of Medical Journal Editorsの”Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals: Writing and Editing for Biomedical Publication” http://www.icmje.org/index.htmlのIII.D.3.Acceptable Secondary Publication を遵守した場合にこれを認める。本誌に掲載された和文論著を外国語に直して別の雑誌に投稿したい際は，Secondary publication許可申請書に両原稿を添えて申請すること。別の雑誌に掲載された外国語論著を和文に直して本誌に掲載希望の場合には，両原稿に先方の編集委員長の交付したSecondary publication 許可書を添えて投稿すること。（元の原稿が既に掲載されている場合には，その頁のコピーまたは抜き刷り，別刷りで代用可。）

原稿作成上の注意事項：

投稿原稿は，原則として印刷物ではなくデジタルデータのみとする。本文をMicrosoft Wordファイル形式あるいはテキストファイル形式で作成し，図・写真はMicrosoft PowerPointファイルあるいはJPEGファイル，TIFFファイルで作成すること。

原稿の形式は以下の通りとし，各項目（１～７）の順に改頁し，通し頁番号を付ける。文字数は左表を参照のこと。

1．表　　紙

(1) 表　　題

(2) 著者名
（複数施設の場合は右肩に1），2）…で区別する）

(3) 所属施設名・科名
（省略しないこと。複数施設の場合は右肩に1），2）…で区別する）

(4) Publication Report の場合
原題，著者名，出典雑誌，巻，号，頁

(5) Corresponding author
氏名，住所，電話番号，FAX 番号，e-mail アドレス

(6) 別刷所要数
を記載すること。

2．論文要旨
400字以内の要旨にキーワード（５つ以内，日本語・英語どちらでも可）および欄外見出し（running title，15字以内）を付すこと。

3．本　　文

(1) 原稿は当用漢字および新かなづかいで分り易く記載する。学術用語は日本医学会医学用語委員会編「医

Presented by Medical*Online

学用語辞典」による。外人名，雑誌名などは原語を用いるが，日本語化した外国語はカタカナを用い，無用な外国語の使用は避ける。

(2) テキストファイルはA4サイズで作成し，文字サイズは12ポイント，1ページ30行，1行35文字とする。

(3) 外国語および数字は半角文字とする。固有名詞以外で文中にある場合は小文字始まりとする。

(4) 句読点にはコンマ(,)句点(。)を用いる。

(5) 引用文献は引用順に番号をつけ，本文中の引用箇所に角括弧([1]，[2,3]，[4-6]等)で記す。

(6) 図1，図2の様に挿入順にアラビア数字で番号を付し，本文にはその挿入箇所を指定すること(括弧で括る)。

4．英文抄録

日本語要旨に合致した英文抄録を，表題，著者名，所属，要旨の順に200語以内で作成する。

5．文　献

本文中に付した引用番号順に配列する。著者名は3名まで列記し，それ以上は，邦文では「他」，英文では「etal.」と記載する。

(1) 雑誌の場合

著者名，論文題名，雑誌名，西暦年；巻：最初項-最後頁

例1)角浜孝行，赤坂伸之，熱田義顕，他．小児開心術における陰圧吸引補助脱血法の無輸血手術に与える効果．北外誌　2007；52：17-21

例2)Merkow RP, Bilimoria KY, McCarter MD, et al. Effect of body mass index on short-term outcomes after colectomy for cancer. J Am Coll Surg 2009; 208：53-61

(2) 単行本の場合

著者名，題名，編集者，書名，(必要あれば版数)，発行地；発行所；西暦年：最初頁-最後頁

例1)福田篤志，岡留健一郎．胸郭出口症候群と鎖骨下動脈盗血症候群．龍野勝彦，他編集，心臓血管外科テキスト．東京：中外医学社；2007；504-507

例2)Costanza MJ, Strilka RJ, Edwards MS et al. Endovascular treatment of renovascular disease. In: Rutherford RB, ed. Vascular Surgery. 6th ed. Philadelphia: Elsevier Saunders；2005；1825-1846

6．表

本文中に挿入された順に表1，表2のようにアラビア数字で番号を付し，それぞれの表にタイトルをつけること。改行した後に表本体を記載，表中で使用した略語は表の下に説明を記載すること。

7．図(絵・写真)

本文中に挿入された順に図1，図2の様にアラビア数字で番号を付し，それぞれの図にタイトルをつけること。1行改行し図の説明を簡潔に記載すること。

原稿送付と必要書類：

1．投稿に際しては，編集事務局に作成した原稿データを電子メールで事務局に送付すること。CD-R, USBフラッシュメモリ，またはDVD-Rでの入稿も可能とする。

2．原稿本文はMicrosoft Word書類あるいはテキスト書類で作成する。

3．図のファイル形式はJPEGあるいはTIFFとし，ファイル本体あるいはPowerPoint書類で提出する。画像ファイルの大きさは最低B7サイズ(91㎜×128㎜)とし，解像度は写真およびグレースケールの図は300dpi以上，絵(ラインアート)は600dpi以上とする。PowerPointで作成した図表はPowerPointファイルで提出してもかまわない。

4．二重投稿および著作権誓約書

巻末の誓約書に著者および共著者全員が自筆署名した上で提出する。

5．利益相反宣誓書

臨床研究に関する論文は，利益相反関係(例：研究費や特許取得を含む企業との財政的関係，当該株式の保有など)の有無を巻末の宣誓書に署名の上，提出すること。利益相反関係がある場合には，関係する企業・団体名を論文本文の最後に明記すること。

6．投稿論文チェックリスト

論文を上記の要領で作成し，かつ，巻末のチェックリストに従って確認してから投稿すること。

宛先：〒060-8638　札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学大学院医学研究院　消化器外科教室II
北海道外科雑誌編集委員会事務局
メールアドレス：hokkaido-j-surg@pop.med.hokudai.ac.jp

Presented by Medical*Online

誓　約　書

北海道外科雑誌
　　編集委員会御中　　令和　　年　　月　　日

著者名（共著者全員自筆署名）

……　……　……

……　……　……

……　……　……

……　……　……

下記投稿論文は，その内容が他誌に掲載されたり，現在も他誌に投稿中でないことを誓約いたします。また掲載後のすべての資料の著作権は北海道外科学会に属し，他誌への無断掲載は致しません。

記

＜論文名＞＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Presented by Medical*Online

利益相反（Conflict of Interests）に関する情報公開について

下段の括弧のいずれかに丸印をつけ，共著者を含め，著者全員が署名した上で，提出してください。

北海道外科雑誌へ投稿した下記論文の利益相反の可能性がある金銭的・個人的関係（例：研究費・特許取得を含む企業との財政的関係，当該株式の保有など）については，次の通りであることを宣誓いたします。

論文題名：

（　　）利益相反の可能性がある金銭的・個人的関係はない。
（　　）利益相反の可能性がある金銭的・個人的関係がある（ある場合は，関係した企業・団体名の全てを以下に宣誓・公開してください。紙面が不足する場合は裏面に記入してください）。

筆頭著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　共著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

共著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　共著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

共著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　共著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

共著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　共著者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Presented by Medical*Online

「北海道外科雑誌」論文投稿チェックリスト

【各項目を確認し，チェックマークを入れてください】

□ 共著者を含め北海道外科学会の会員ですか(非会員の方が含まれている場合は氏名を明記してください)

□ 非会員には本会会員の推薦が必要です どなたの推薦ですか(推薦者自署)

□ 論文形態は何ですか
○ 原 著　　○ 症例報告　　○ その他

□ 要旨字数は規定内ですか(400字以内，Publication Report を除く)

□ キーワードは5個以内ですか

□ 欄外見出しは15字以内ですか

□ 英文抄録は200語以内ですか

□ 原稿枚数は規定内ですか

□ 冗長でなく，簡潔な文章になっていますか

□ 引用文献の書式および論文数は規定に沿っていますか(原著30箇以内，症例15箇以内)

□ 頁番号を付していますか

□ 患者プライバシー保護の指針を厳正に遵守していますか

□ 「図表を転載するには著者本人が初出雑誌に転載許可を取得ることになっております」が、取得されましたか？(Publication Report のみ)

□ 必要書類はそろっていますか
○ 誓約書　　○ 利益相反宣誓書

＊このリストも原稿とともに郵送願います

Presented by Medical*Online

「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」

医療を実施するに際して患者のプライバシー保護は医療者に求められる重要な責務である．一方，医学研究において症例報告は医学・医療の進歩に貢献してきており，国民の健康，福祉の向上に重要な役割を果たしている．医学論文あるいは学会・研究会において発表される症例報告では，特定の患者の疾患や治療内容に関する情報が記載されることが多い．その際，プライバシー保護に配慮し，患者が特定されないよう留意しなければならない．

以下は外科関連学会協議会において採択された，症例報告を含む医学論文・学会研究会における学術発表においての患者プライバシー保護に関する指針である．

1）患者個人の特定可能な氏名，入院番号，イニシャルまたは「呼び名」は記載しない．
2）患者の住所は記載しない．但し，疾患の発生場所が病態等に関与する場合は区域までに限定して記載することを可とする．（神奈川県，横浜市など）．
3）日付は，臨床経過を知る上で必要となることが多いので，個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載してよい．
4）他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定され得る場合，診療科名は記載しない．
5）既に他院などで診断・治療を受けている場合，その施設名ならびに所在地を記載しない．但し，救急医療などで搬送元の記載が不可欠の場合はこの限りではない．
6）顔写真を提示する際には目を隠す．眼疾患の場合は，顔全体が分からないよう眼球のみの拡大写真とする．
7）症例を特定できる生検，剖検，画像情報に含まれる番号などは削除する．
8）以上の配慮をしても個人が特定化される可能性のある場合は，発表に関する同意を患者自身（または遺族か代理人，小児では保護者）から得るか，倫理委員会の承認を得る．
9）遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省，厚生労働省及び経済産業省）（平成 13 年 3 月 29 日，平成 16 年 12 月 28 日全部改正，平成 17 年 6 月 29 日一部改正，平成 20 年 12 月 1 日一部改正，平成 25 年 2 月 8 日全部改正，平成 26 年 11 月 25 日一部改正，平成 29 年 2 月 28 日一部改正）による規定を遵守する．

平成 16 年 4 月 6 日（平成 21 年 12 月 2 日一部改正，平成 27 年 8 月 28 日一部改正）

外科関連学会協議会　加盟学会
日本外科学会，日本気管食道科学会，日本救急医学会，日本胸部外科学会，日本形成外科学会，
日本呼吸器外科学会，日本消化器外科学会，日本小児外科学会，日本心臓血管外科学会，
日本大腸肛門病学会，日本内分泌外科学会，日本麻酔科学会

本指針に賛同している学会
日本肝胆膵外科学会，日本血管外科学会，日本喉頭科学会，日本呼吸器内視鏡学会，日本乳癌学会，
日本腹部救急医学会（以上，平成 16 年 4 月 6 日付），日本胃癌学会（平成 16 年 6 月 4 日付），
日本食道学会（6 月 24 日付），日本整形外科学会（9 月 21 日付），
日本手外科学会（平成 17 年 8 月 1 日付），日本整形外科スポーツ医学会（8 月 20 日付），
日本外傷学会（9 月 7 日付），日本熱傷学会（12 月 14 日付），日本美容皮膚科学会（12 月 14 日付），
日本頭蓋顎顔面外科学会（12 月 16 日付），日本股関節学会（12 月 19 日付），
日本皮膚アレルギー学会（12 月 28 日付），日本肘関節学会（平成 18 年 1 月 27 日付），
日本皮膚科学会西部支部（3 月 24 日付），中部日本整形外科災害外科学会（5 月 15 日付），
日本胆道学会（7 月 21 日付），日本関節鏡学会（8 月 3 日付），東日本整形災害外科学会（8 月 25 日付），
日本集中治療医学会（9 月 6 日付），日本ヘリコバクター学会（11 月 13 日付），
日本外科代謝栄養学会（12 月 8 日付），日本腰痛学会（平成 19 年 5 月 11 日付），
日本肺癌学会（7 月 9 日付），日本膵臓学会（12 月 4 日付），日本臨床外科学会（12 月 20 日付），
日本消化器病学会（平成 21 年 9 月 15 日付），日本消化器がん検診学会（11 月 12 日付），
日本門脈圧亢進症学会（12 月 25 日付），日本皮膚科学会東海地方会（平成 22 年 1 月 5 日付），
日本静脈経腸栄養学会（5 月 11 日付），西日本整形・災害外科学会（6 月 5 日付），
日本関節病学会（7 月 9 日付），日本臨床皮膚外科学会（7 月 20 日付），日本放射線腫瘍学会（9 月 10 日付），
日本口腔腫瘍学会（平成 23 年 3 月 30 日付），日本消化器内視鏡学会（平成 24 年 2 月 13 日付），
日本頭頸部外科学会（7 月 10 日付），日本消化管学会（9 月 2 日付），日本女性心身医学会（9 月 5 日付），
日本運動器科学会（9 月 10 日付），日本女性医学学会（平成 25 年 12 月 5 日付），
日本頭頸部癌学会（12 月 25 日付），日本鼻科学会（平成 26 年 7 月 11 日付），
日本緩和医療学会（平成 27 年 6 月 8 日付），日本心臓血管麻酔学会（9 月 4 日付），
日本顔面神経学会（10 月 14 日付），日本循環器学会（平成 30 年 4 月 3 日付），
日本創傷外科学会（平成 31 年 2 月 7 日付），関東整形災害外科学会（令和元年 6 月 5 日付）

Presented by Medical*Online